

LUCID シリーズ ～12GHz アナログ信号発生器 (SG) のご紹介
東陽テクニカの技術セミナー事情

【株式会社東陽テクニカ 理化学計測部】

平素より弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

立春を過ぎ過ぎしやすい日々になるかと思いきや、
寒い日と暖かい日が入り混じっていて体調管理が難しい今日この頃ですね。
みなさま風邪などひかないようどうぞお気をつけください。
今月は、2020年、令和2年、2月とやたらと2が付くな、と思い
色々調べてみたところ、2月22日は各鉄道会社から記念切符が発売されるそうです。
また、猫の日でもあるそうです。(に(2)ゃん、に(2)ゃん、に(2)ゃんが由来だとか…)

さて、今月号は、新製品の LUCID シリーズ ～12GHz アナログ信号発生器のご紹介と、
東陽テクニカの技術セミナー事情をご紹介します。

1. LUCID シリーズ ～12GHz アナログ信号発生器 (SG) のご紹介

▼ 製品の詳細はこちらから

<https://www.toyo.co.jp/material/products/detail/id=14365>

材料物性や物理分野において、RF デバイス試験などのマイクロ波帯域の信号を
必要とするアプリケーションにとって SG (Signal Generator) は不可欠なツールです。
従来の SG は 1ch 機器が主流で、マルチチャネル、マルチトーンを要求される場面では、
複数の機器接続による構成を余儀なくされ、コストやスペースを圧迫していました。

新製品 LUCID シリーズは、低コスト 1ch 出力の卓上デスクトップタイプはもとより、
ベンチトップタイプで最大 4ch、ラックマウントタイプでは最大 16ch の独立
または位相コヒーレント RF 信号を出力します。
計測システムの構築において、コストとスペース両方の節約に貢献します。
また 1ch 出力の卓上デスクトップタイプは、
Wi-Fi ルータのような縦置き卓上型ながら出力、周波数を可変でき、
下記の機能も持ったハイコストパフォーマンスモデルです。

< LUCID シリーズの主な特長 >

- ・必要な周波数帯域に応じた 3 モデル (～3GHz、～6GHz、～12GHz)
- ・1 筐体でマルチチャネルの信号生成が可能で、コストとスペース両方の節約に貢献
- ・100MHz で-145dBc/Hz、1GHz で-132dBc/Hz の SSB 位相雑音特性を持つ高品質の信号を生成

- ・パルス変調をはじめ、AM、FM、PM、周波数/振幅掃引（スイープ）などの変調スキームに対応
- ・100 マイクロ秒未満のスイッチング時間による高速スループットで、計測時間を短縮

今後 SG の導入計画がおありの方は、ぜひ LUCID シリーズをご検討ください。

▼ 製品の詳細はこちらから

<https://www.toyo.co.jp/material/products/detail/id=14365>

2. 東陽テクニカの技術セミナー事情

東陽テクニカでは様々な技術セミナーを行っています。

最近の理化学計測の分野では、半導体、強誘電体、磁性材料、電気化学関連など幅広いテーマのセミナーで著名な先生方をお招きし、ご講演いただいています。

主な開催場所は東京都中央区にある東陽テクニカ八重洲本社、

または首都高を挟み隣接する東陽テクニカ TI センターです。

ごちらも東京駅日本橋口から徒歩約 5 分の場所にあり、大変便利な立地も好評いただいています。

セミナーは半日以上の日程になることが多く、

休憩中は弊社で提供させていただいているソフトドリンクやお菓子を手に、

展示されている関連装置の前で議論する姿があちらこちらで見られます。

また、交通の便が良いこともあり、

学会や研究会が主催する講演会や勉強会なども弊社セミナー会場で行われています。

また、東陽テクニカではお客様の元へ出向いて行う出張セミナーも開催しています。

代表的なものは「低温計測技術セミナー」です。

開催時間は約 2~3 時間で 磁気・低温計測器メーカーの Lake Shore 社のノウハウを基に、低温センサーの選択や取付け方などを、実例を交えて丁寧にレクチャーします。

10 名程度の参加者様と会場（会議室や教室など）をご用意していただければ基本的にエリアを問うことなく、申込みを承っております。

開催を希望の方は【 material-dm@toyo.co.jp 】までご連絡ください。

これまで多くの大学、研究機関、企業などでの開催実績があり、

研究室の新生入生向けとして、また企業の新人研修として、活用いただいています。

では、最後に、開催目前のセミナーについてご案内させていただきます！

■ 日時

2020 年 2 月 14 日（金）

13:00 ~ 17:00 (11:30 開場) ※昼食のお弁当をご用意しております

■ 講師および講演内容

第 1 部：永久磁石材料の磁化反転解析

～FORC 解析の基礎と活用事例～

国立大学法人東北大学 多元物質科学研究所 岡本 聡 氏

第2部：地球惑星科学における FORC 解析とその重要性、

および、FORC 法の今後の展開

国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門 小田 啓邦 氏

■ 会場

株式会社東陽テクニカ TI センター 9F

東京都中央区日本橋本石町 1-1-2

(JR 東京駅日本橋出口から徒歩 5 分 / 東京メトロ三越駅前から徒歩 1 分)

■ 参加費

無料 ※事前の参加登録が必要です

★ 受講登録

<https://www.toyo.co.jp/material/seminar/detail/seminar2020-1.html>

3. 大好評！年度末キャンペーンのご案内

▼ 年度末キャンペーン特設ページはこちら

<https://www.toyo.co.jp/material/contents/detail/campaign2019-4.html>

▼ オンラインストア年度末キャンペーンはこちら

<https://www.material-store.toyo.co.jp/page.php?pld=5>

☆ オンラインストアからのご購入が最安値となります。

4. おわりに

今回は、イスラエル Tabor 社の新製品 LUCID シリーズを紹介させていただきました。

Tabor 社は創業約 50 年を迎え、長年に渡り蓄積された技術力と実績は高く評価されており、

欧米の大手計測機器メーカーへの OEM 供給製造元でもあります。

理化学計測部が総代理店契約を結ぶメーカーは Tabor 社を含め世界各国、20 社以上に渡ります。

物性評価ソリューション分野における、数多くのパートナーシップがあるからこそ、

みなさまに最適なソリューションをご提案できると自負しております！

いよいよ 2 月も中盤、明日はバレンタインデーです！

弊社では時代の流れと共に、大々的にプレゼント、という文化は

すっかりなくなりましたが、みなさまの職場ではいかがでしょうか？

最近ではコンビニエンスストアでも有名店のチョコレートが手に入るので、日々のお疲れを癒すために自分にプレゼント♪も良いかもしれませんね！

それではまた来月号でお会いしましょう！

▼ バックナンバーはこちらから

<https://www.toyo.co.jp/material/contents/detail/backnumber.html>

◎本メールは、以下のお客様にお送りしております。

- ・弊社製品のユーザー様
- ・過去に弊社セミナーへお申し込み・ご参加をいただいた方
- ・弊社展示会ブースにお立ち寄りくださった方
- ・各種アンケートにご回答くださった方
- ・Web サイトより会員登録やお問い合わせ、各種お申し込みをいただいた方
- ・弊社の担当者と名刺交換いただいた方

◎弊社の個人情報の取扱いについて

<https://www.toyo.co.jp/privacy.html>

◎今後、メール配信の停止をご希望のお客様はお手数ですが下記よりお手続きをお願いいたします。

https://www.toyo.co.jp/bussei/mail_kaijo

◎メールの配信先変更をご希望のお客様は

material-dm@toyo.co.jp（担当：伊豫田、立石）までご連絡ください。

◎本メールの内容に関するご意見・お問い合わせは下記メールアドレスまたは電話番号までご連絡ください。

■発行：株式会社東陽テクニカ 理化学計測部

■URL：<https://www.toyo.co.jp/material/>

■公式オンラインストア：<https://www.material-store.toyo.co.jp/>

■お問い合わせ先

TEL：03-3245-1103（直通） FAX：03-3246-0645

E-mail：material-dm@toyo.co.jp

(C) 2020 TOYO Corporation.